

やさしい街

広報誌

No. 192

ふれあい
ネットワーク

2012年11月

さっぽろ市社協



毎月3日は、「見守り・訪問の日」

～190万人の市民の眼で見守りを～

去る9月19日（水）に開催した平成24年度「福まち発」地域福祉市民活動フォーラムにて、地区福祉のまち推進センターを中心とした、これまでの見守り・訪問活動の取り組みは引き続き重点的に取り組むとともに、市・区・地区社会福祉協議会と地区福祉のまち推進センターが、「見守り・訪問活動」への理解と参加を190万人の市民に広めていくという方向性を確認する宣言を行い、その具体策として、毎月3日を「見守り・訪問の日」に制定することを採択しました。

今後は、「見守り・訪問の日」を広く市民にPRしていくため、見守り・訪問活動の啓発グッズの作成や、様々な媒体を活用した周知活動、見守り・訪問活動の拡大に向けた新たな企業・団体への働きかけなどを通じて、「見守り・訪問活動の輪」を更に広げてまいります。



地域福祉市民活動フォーラムの様子

CONTENTS

- 2～4 社協事業トピックス
- 5 札幌市ボランティアセンターから
- 6 地域福祉情報提供
- 7 札幌市共同募金委員会から
- 8 情報トピックス



本誌は赤い羽根共同募金の助成金で発行されています

「地域の我が家」サロンセミナーのご案内

サロン活動は、地域で暮らす高齢者や子育て中の親子、障がいのある人たちの仲間作りや居場所づくりの場、地域の情報交換の場として、大きな広がりを見せています。このセミナーでは、「サロン活動」がさらに発展、拡大していくことを期待するとともに、すでに活動をしているサロンについても応援し、サロン活動全体を盛り上げていくことを目的に、サロン活動の場で活用できる交流体験型のイベントを開催します。

日時	平成24年12月15日(土) 10:00~16:00
会場	札幌市社会福祉総合センター(中央区大通西19丁目1-1)
交通手段	地下鉄東西線「西18丁目」駅1番出口から徒歩
参加費	無料
開催内容	※都合により、内容が一部変更となる場合がありますので、予めご了承ください。



昨年度のセミナーの様子

(1) 交流ブースコーナー 会場：4階大研修室

- 福祉活動団体紹介コーナー
サロンやボランティア・福祉団体の活動紹介や実演を行う体験交流スペースです。
- 企業紹介コーナー
安否確認の通報システムや配食サービスや健康食品の販売等の福祉・介護・健康事業等に取り組んでいる企業等の紹介や相談コーナーです。
- 物販販売コーナー
織物・小物・雑貨・キャンドルなどの手作り品の販売や、三世代で楽しめる昔懐かしい駄菓子等の販売を行います。



(2) 芸能発表コーナー 会場：4階視聴覚兼会議室

子どもからお年寄りまで楽しめる紙芝居、アコーディオン演奏！皆で歌おう、琵琶演奏と語りべ、落語で笑おう

(3) サロンで役立つ体験講習コーナー 会場：3階第2・3会議室

- ・天然石を使ったストラップづくり 10:30~15:30 材料費500円 ※講習は随時実施します。
- ・鮎細工作り体験 12:30~15:30 材料費300円 ※6回に分けて実施予定(各回5名定員)。

(4) お楽しみイベント

- スタンプラリー 会場内を回ってスタンプを集めていただいた方に、先着順で素敵な景品をプレゼントします。
- ミニコンサート 総合センター1階の元気カフェ「ふらっと」で、クリスマスムードを盛り上げるミニコンサートをお楽しみください。

お問い合わせ 地域福祉係(8P参照)

新・さっぽろ市民福祉活動計画新規事業の紹介 ～ふれあい・いきいきサロン縁結び事業～

本会では、「新・さっぽろ市民福祉活動計画」の新規事業の「ふれあい・いきいきサロン縁結び事業」の取り組みとの一つとして、サロン団体とボランティアを繋ぐ仕組みを作り、サロン活動の更なる充実を図ることを目的に、各区社協や札幌市ボランティアセンターに登録している芸能ボランティア団体の情報をまとめた一覧表とボランティア依頼票を全市の活動中のサロンに情報提供を行いました。

これらを活用いただくことで、サロンで実施する行事の際に、芸能ボランティア団体に直接、歌や踊りなどの披露を依頼することや、日常のサロン活動を支援するボランティアを区社協に依頼することが出来るようになりました。

今後は、市内の学校・福祉施設・児童会館などにサロンなどの地域福祉活動に活用できる空きスペースの利用についての調査を行うとともに、社会貢献活動の一つとして、一般企業にも空きスペースの提供を呼びかけ、新規サロンの立ち上げや運営上の悩み困りごとを抱えるサロン団体の活動を支援してまいります。

敬老園札幌
検索

緑の中で過ごすあたたかな毎日

20年以上の実績を活かし、24時間看護・介護体制でみなさまの健康と生活をサポートし、豊かなシニアライフをお届けいたします。

介護付有料老人ホーム

敬老園

ロイヤルヴィラ
ナーシングヴィラ

〒063-0040 札幌市西区西野10条6丁目2-20
TEL: 011-661-8720 / FAX: 011-661-3220

札幌 ☎ 0120-563-052

施設見学受付中

北海道有料老人ホーム設置運営指導指針による表示事項
■施設/介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護) ■居宅の権利形態/利用方式■利用者の募集方法
一時貸方式■入居時の条件/55歳以上で入居時自立■要介護
■介護保険/北海道指定介護保険特定施設/北海道指定介護予防特定施設(一般型特定施設) ■居室区分/一般居室は全室個室/介護居室は相部屋あり■介護に関する職員体制/2.5:1以上

「福まち発」地域福祉市民活動フォーラムを開催しました

9月19日(水)、福まちウィークにあわせて「平成24年度福まち発地域福祉市民活動フォーラム」を開催しました。今年度は「集合住宅での見守り活動を考える」をテーマに北翔大学人間福祉学部長の林恭裕氏から、特に孤立死問題と地域における連携した見守り活動について講演をいただき、その後、厚別区の第二もみじ自治会会長、佃律子氏、北区の幌北第3町内会会長、小川富之氏から、それぞれ地域での実践報告が行われました。



第二もみじ自治会では、地域の方から、自治会の暗いイメージを指摘されたところから活動がスタートし、福祉の原点を「日常の中で気にかけること」として、活動者が住民にわかりやすいように「黄色いエプロン」を目印として活動している様子などが報告されました。

本フォーラムの最後には、札幌市民190万人に見守りの大切さを理解していただくことなどを主眼とした「フォーラム宣言」が採択され、福祉のまち推進センターのこれまでの活動を継続しつつ、今後、より多くの市民、企業等の理解と参加も得ながら、見守り活動を市民に広げていくことが確認されました。(参加者 466名)

平成24年度 福まち活動写真・広報紙コンクール及び 小学生の描く「人にやさしい福祉のまちづくりポスター作品展」 入賞地区・入賞者のご紹介

今年度の福まち活動写真コンクールの地区福まちの部には、41地区79作品、単位町内会・自治会の部には、14単町20作品、福まち広報紙コンクールには34地区34作品の応募がありました。また、小学生の描く「人にやさしい福祉のまちづくりポスター作品展」には、36校390名から応募がありました。たくさんのご応募、誠にありがとうございました。

入賞地区及び入賞者を、下記のとおり、お知らせいたします。なお、受賞作品は、本会ホームページで、ご覧いただくことができます。

福まち活動写真コンクール (地区福まちの部)

賞	区	地区名
最優秀賞	豊平区	美園地区
優秀賞	清田区	北野地区
審査委員特別賞	中央区	宮の森大倉山地区
	豊平区	西岡地区
佳作	中央区	東北地区
		南円山地区
	北区	太平百合が原地区
	清田区	平岡地区
		清田地区
南区	藤野地区	

福まち活動写真コンクール (単位町内会・自治会の部)

賞	区	地区・単位町内会名
最優秀賞	清田区	清田中央地区 清田団地北町町内会
優秀賞	手稲区	手稲鉄北地区 曙第7町内会
審査委員特別賞	清田区	北野地区 北野まきば町内会
	手稲区	稲穂金山地区 金山団地町内会
佳作	東区	栄東地区 栄中央第一町内会
	清田区	清田中央地区 清田南中央町内会
		清田中央地区 清田団地北町町内会

福まち広報紙コンクール

賞	区	地区名
最優秀賞	手稲区	手稲鉄北地区
優秀賞	厚別区	厚別東地区
審査委員特別賞	白石区	北東白石地区
	南区	藤野地区
佳作	東区	北栄地区
	白石区	菊水地区
	豊平区	月寒地区
	西区	西町地区
	手稲区	稲穂金山地区

人にやさしい福祉のまちづくりポスター作品展

賞	学校名	氏名
札幌市長賞	屯田小	南 保 空 花 さん
札幌市社協会賞	円山小	中 池 貴 子 さん
	太平南小	渡 邊 智 帆 さん
審査委員特別賞	栄西小	松 井 千 夏 さん
	平岡中央小	坂 牛 ひなた さん
	八軒北小	吉 家 うらら さん
	手稲北小	野 月 そよか さん

※佳作受賞者26名は、誌面のスペース上、お名前掲載は割愛させていただきます。



福まち活動写真コンクール
最優秀賞 美園地区福まち



福まち活動写真コンクール
最優秀賞 清田団地北町町内会



福まち広報紙コンクール
最優秀賞 手稲鉄北地区福まち



福祉のまちづくりポスター展
入賞者の皆さん

「障がいのある方への虐待防止を考えるシンポジウム」を開催しました

障がいのある方への虐待の防止、また、権利や尊厳を守るために「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律（障害者虐待防止法）」が平成24年10月から施行されました。

この施行に併せて、本会は、札幌市から委託を受け、障がい者虐待の通報受付をする「札幌市障がい者虐待相談」の窓口を設けるとともに、早期発見・防止のための啓発活動を行っています。

去る10月15日(月)、エルプラザにおいて「障がい者への虐待防止を考えるシンポジウム」を開催いたしました。はじめに、厚生労働省虐待防止専門官・障害福祉専門官の曾根直樹氏から「障害者虐待防止法の概要」について基調講演が行われ、法整備までの背景や虐待の定義に関するお話をいただきました。また、シンポジウムでは「障がい者虐待を防ぐためにできること」をテーマに、市内において障がい者福祉の第一線で活躍する3名の方々を中心として、虐待の防止に関する貴重な意見が交わされました。当日は200名を超える市民や関係者の参加があり、このシンポジウムを通して、虐待防止のために必要な視点とともに障がい者理解を深める機会となりました。

本会では、関係機関と連携しながら障がいのある方が安心して生活できることを目指してまいります。



【障がい者虐待相談に関する相談窓口】

札幌市障がい者虐待相談

札幌市中央区大通西19丁目1-1 社会福祉総合センター 2階
(社会福祉法人札幌市社会福祉協議会自立支援課内)

電話：011-632-7021 FAX：011-613-5486

窓口時間（9:00～19:00 土・日曜日、祝祭日、年末年始を除く）

当施設は住宅型になりますが、要支援・要介護の方を対象とした施設です。「シティホーム山鼻」独自のキメ細かいサービスを提供しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

居室：48室(57名)／個室39室(各18㎡) 夫婦居室9室(各36㎡)

入居金／個室Aタイプ630万円／夫婦居室Bタイプ1,080万円／夫婦居室Cタイプ1,140万円
月額費用／(個室)99,750円 (夫婦居室お一人)86,100円 (食費別)

・住居の権利形態／利用権方式 ・入居時の要件／入居時要支援・要介護
・利用料の支払い形式／月払い方式

住宅型有料老人ホーム 札幌市中央区南16条西19丁目1番32

シティホーム山鼻3号館 事業主体名：ホクビシティホーム株式会社

URL：<http://www.cityhome-yamahana.com>

TEL：0800-800-9533 (または011-522-8123)



土地・建物／自己所有



介護付き有料老人ホーム
シティホーム山鼻・シティホーム山鼻2号

ボランティアバス・ファイナル便

～宮城県仙台市・南三陸町、岩手県陸前高田市での活動報告～

本会では、東日本大震災復興支援の「ボランティアバス・ファイナル便」を9月20日（木）～24日（月）の4泊5日の行程で実施しました。

今回のファイナル便では、行き先に、初めて宮城県を加えるとともに、従来までは、2日間ボランティア活動に取り組んでいたところを、今回は、3日間の活動として、現地の方から直接、話を伺う『防災学習』の企画を複数盛り込み、これまでの集大成のような内容となりました。

活動初日は、バスで仙台市若林区荒浜地区に向かい「荒浜再生を願う会」でお月見会を行うため、雨の降る中、細かいガレキを拾うなどの敷地整備の活動を行いました。そこで、貴田会長より、「先祖代々から続くこの土地に、再び、住みたいが行政の認可がない」といった、現在の地域状況などのお話をいただきました。

活動2日目は、宮城県南三陸町志津川細浦でガレキ撤去のボランティア活動を行いました。活動後は、仮設店舗で買い物をし、地元の会長さんからの講話と仮設住宅の案内がありました。震災当時や現在の状況が直接伝わってくる話に涙を流す参加者もいました。

活動3日目は、陸前高田市で草刈りのボランティアに取り組みました。市役所からの依頼で、これまで重機・トラックが頻繁に入っていたエリアで活動を行いました。実際に犠牲者が多数おられた市役所・高田病院付近では、花・お供えものが見受けられ、命の大切さを考えながら、作業に取り組みました。

今回のボランティアバスは、今までよりも、内容が濃い企画ではありましたが、参加者の皆さんは、どんなボランティア活動にも熱心に取り組む、被災地の置かれている状況について、五感で、そして、限られた時間の中で、すべてを受け止めようとしている感じがしました。



❄️❄️「札幌スノーバスターズ」メンバー大募集! ❄️❄️



札幌市ボランティアセンターでは、ひとり暮らし高齢者等で雪に悩んでいるお宅を除雪する雪かきボランティアを募集しています。作業はグループで行い、活動先へは、乗合で車を使って向かいます。

昨年からはじめたボランティア事業ですが、33名にご登録いただき、5軒の除雪を実施しました。女性の登録者や東日本大震災被災地でのボランティア経験者も多く、活動もグループで行うため、安心して参加することができます。

人のために何か役に立ちたい、体を動かすボランティアをしたいという方にお勧めのボランティア活動です。皆様のご参加をお待ちしております。

活動時間

・概ね午前9時30分～午後4時までの間（作業時間は、30分～60分）
※月に1回～2回くらいを想定しています。

・活動依頼は、登録者へEメール・FAXで札幌市ボランティアセンターが行います。

留意事項

・条件：高校生以上の健康な方。

・除雪道具等（防寒具やスコップなど）は各自で用意してください。お持ちでない方は、貸出します。

・ボランティア活動保険に加入いただきます。

できる時に、みんなで雪かきをしませんか？まずは、お問い合わせを！
問い合わせ先：札幌市ボランティアセンター（8ページ参照）

みんなで作ろう ふれあい、生きがいのあるまち 共生フォーラムin札幌のご案内

少子高齢社会を迎え、子どもから高齢者まで心豊かに、困ったときは「お互いさま」と自然にふれあい・助け合う温かいまちづくりの実現を目指して、札幌市長をはじめ、地域住民・医療・福祉・NPO関係者が、それぞれの役割と連携・協働について話し合い、よりよい福祉のまちを目指すことを目的として開催します。



さわやか福祉財団
理事長 堀田 力 氏

【主 催】 公益財団法人さわやか福祉財団
ふれあいパレットさわやか北海道 共生フォーラムin札幌実行委員会

【日 時】 平成24年12月9日(日) 14:00～17:00

【場 所】 道新ホール(札幌市中央区大通西3丁目)

【参加費】 無料(先着順 定員700名)

【内 容】 ○基調講演
「生きがいのあるふれあい社会」の実現を目指して
さわやか福祉財団 理事長 堀田 力 氏
○パネルディスカッション
「心かよいあう ささえあいのまち 札幌をめざして」

パネリスト 上田 文雄 氏(札幌市長)
坂本 仁 氏(坂本医院院長)
馬場 伸哉 氏(札幌市社会福祉協議会自立支援部長)
村山 文彦 氏(札幌市東区第2地域包括支援センター センター長)
中村 伸枝 氏(札幌市民)
コーディネーター:堀田 力 氏(さわやか福祉財団理事長)

【申込み期間・申込み先】

11月12日(月)～11月30日(金)
札幌市コールセンター
TEL011-222-4894
FAX011-221-4894
Eメール:info4984@city.sapporo.jp

豆知識 さわやか福祉財団とは?

さわやか福祉財団は、弁護士・元検察官の堀田力氏が1991年に設立した公益財団法人です。「新しいふれあい社会の創造」を基本理念に掲げ、誰もがどのような状態になっても地域で心豊かに安心して暮らせるための支え合いの地域ネットワークづくりや、近隣の自然なふれあい・助け合いや、勤労者のボランティアの推進、市民の声を政策や社会の枠組みに反映できるような政策提言など幅広い活動に取り組まれています。

1年間で
資格を取得!!

介護福祉士講座

入学条件 大学・短大・専門学校の保育士養成課程を卒業(見込み)し、保育士資格を有する者

POINT

- 介護福祉士+保育士の2つの資格取得でより広がる活躍の場
- 教育訓練給付制度対象講座(厚生労働省)
※雇用保険に通算3年以上加入しているなどの一定の要件(注)を満たす場合は、学費の20%(上限10万円)が給付されます。注:詳細は最寄りのハローワークにご照会ください。
- 平成27年3月までに学習修了者は国家試験免除

Yoshida 専門学校北海道福祉大学校 介護福祉学科(1年)
URL:www.yoshida-fukushi.jp/gakka3/
☎ 0120-607033 | 札幌市中央区南3条西1丁目
E-MAIL:public@yoshida-g.ac.jp | (地下鉄大通駅徒歩3分)

『カ』を合わせると、未来が明るいワン

カ
カカ

協信電気工業株式会社
〒060-0013 札幌市中央区北13条西15丁目6番22号
TEL(011)736-8311 FAX(011)736-8318

街頭募金へのお礼と歳末たすけあい募金への協力のご依頼



10月1日から札幌市中心部や各区で一斉に「赤い羽根共同募金」の街頭募金を実施し、全市で730団体、延べ6,700名の皆様に街頭募金活動にご参加をいただき、7,258,640円の善意の募金が集まりました。

今年の街頭募金運動は、天候に恵まれる日が多く、雨天により街頭募金活動を中止する日があった昨年と比べて、1.6倍近い募金額となりました。

また、今年は、例年に比べて、学生の参加が多く、学生達は、大きな声で「赤い羽根共同募金にご協力お願いします」、「地域での福祉活動や東日本大震災のボランティアを支援する活動費としても活用されます」など、大きなかけ声で募金活動を行っていました。

募金活動に取り組んでいただいた活動者の皆様、募金にご協力をいただきました皆様の温かいご支援・ご協力に心よりお礼を申し上げます。

また、12月1日からは、「歳末たすけあい運動」が始まります。「歳末たすけあい運動」は、共同募金運動の一環として、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるように取り組んでいる運動です。

重ねて、「歳末たすけあい募金」へのご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。



「初音ミク」イラストパネル展を開催しました

10月2日・3日、札幌駅前地下歩行空間「チ・カ・ホ」において、「支えあうココロ、未来へ。」イラストパネル展を開催しました。このプロジェクトは、クリプトン・フューチャー・メディア(株)と赤い羽根共同募金との協同で、「初音ミク」をデザインしたイラストや応援キャンペーンソングを募集したもので、若い世代の方にも赤い羽根共同募金、そして助け合いの“ココロ”に関心を寄せていただくとう企画したものです。当日は、この応募作品から、イラスト58点、応援キャンペーンソング2楽曲をパネルやマルチビジョンで紹介しました。



2日間で、約2,000人の来場があり、共同募金への関心を寄せていただくとともに、多くの方に募金にもご協力をいただきました。

「赤い羽根共同募金特別イベント」のご案内

66回目を迎えた今年の赤い羽根共同募金運動は、道内のスポーツチームや道内出身の漫画家、そして「初音ミク」とクリエイターの皆さんにもご協力をいただき、幅広い年齢層に向けて運動を展開しています。

そこで、赤い羽根共同募金運動の最終月となる12月に、今年度の共同募金運動にご協力をいただいた皆様への感謝の気持ちを込めて、赤い羽根共同募金の特別イベントを開催します。

- ◆日時 平成24年12月24日(月)～25日(火)10時～20時 ※24日は12時～20時
- ◆場所 北大通交差点広場(西)
- ◆内容 「支え合うココロ、未来へ。」プロジェクトの取り組み・ポスター紹介・一定額以上の募金に応じたコラボグッズの頒布を予定
※詳細は、ホームページをご覧ください。

ご寄付ありがとうございました

(札幌市社会福祉協議会愛情銀行)

9月受理分

- ★ 株式会社ベガスベガス 様 車いす 1台
- ★ 松緑神道大和山

10月受理分

- ★ 札幌市保養センター駒岡陶芸教室「陶寿房」様 42,754円
- ★ 松井武司歌謡カラオケ札幌教室 様 10,120円
- ★ さっぽろ旭山うた祭りの会 様 100,000円
- ★ フラワーショップ 花れん 様 1,300円



「陶寿房」様

冬の特別企画

親子で楽しむ朗読会

フリーアナウンサーの田中隆子さんをお迎えして、絵本の朗読を行います。

【日 時】 12月15日(土) 13:30~14:30

【場 所】 札幌市社会福祉総合センター
3階情報センター資料室

【申込方法】 情報センター資料室(下記参照)まで
電話かFAXでお申込みください。

【定 員】 親子30名(先着順)

【受講料】 無 料

【予定作品】 「はらぺこあおむし」
「とうぶつにふくをきせてはいけません」
「わすれられないおくりもの」他

札幌市社会福祉協議会の連絡先

〒060-0042	
札幌市中央区大通西19丁目1番1号 札幌市社会福祉総合センター内	
代表	011-614-3345
総務課	011-614-3343
札幌市社会福祉総合センター	011-614-2948
地域福祉課地域福祉係	011-614-3344
生活福祉係	011-614-0169
札幌市共同募金委員会	011-614-3532
FAX(上記共通)	011-614-1109
情報センター資料室	011-614-1109
FAX	011-615-2666
自立支援課	011-612-6110
高齢者・障がい者生活あんしん	011-632-7355
支援センター(相談係)	
FAX(上記共通)	011-613-5486

〒060-0001	
札幌市中央区北1条西9丁目 リンケージプラザ2F	
札幌市ボランティア研修センター	011-223-6005
札幌市ボランティアセンター	011-219-1737
FAX(上記共通)	011-261-8881

札幌市社会福祉総合センター・札幌市ボランティア研修センターでは会議室、研修室の貸出を行っています。ボランティア活動や市民活動の打ち合わせや研修の場としてご利用ください(受付時間:月曜日から金曜日8:45~17:15)。

札幌市ボランティア研修センター 研修会のご案内

大好評! 災害時地域支え合い講座

災害に備えるための基本的知識と
近隣同士の助け合いについて、実例を交え理解を深めます。

【講 師】 札幌市ボランティアセンター西川 圭

【日 時】 1月17日(木) 10:00~12:00

【場 所】 札幌市ボランティア研修センター 第1研修室

【申込方法】 札幌市ボランティアセンター(下記参照)

まで電話かFAXでお申込みください。

【定 員】 30名(先着順)

【受講料】 無 料 ※受講者には、修了証として災害用ホイッスルをお渡しします

情報センター資料室より

今回のオススメ

『男も出番! 介護が変わる』

羽成 幸子 著 春秋社

自己流介護で身内5人を看取ってきた著者が、「介護」をテーマに、家族・愛情・生き方などについて縦横無尽に語ります。

誰もが、介護をする立場、受ける立場となりうるからこそ、介護について身近に考える機会をもってほしいという想いがあふれる一冊。



賛助会員の募集

札幌市社会福祉協議会では、活動に賛同し協力していただける賛助会員を募集しています。皆様からいただいた賛助会費は、札幌市の地域福祉を推進する貴重な財源として、様々な事業に役立てています。本会の活動の趣旨をご理解いただき、地域福祉のサポーターとして、お互いに支え合う街づくりの実現のため、ご協力をお願いいたします。

【年会費】

■個人(1口) 1,000円 ■団体(1口) 10,000円

問い合わせ先 総務課(左記参照)

●お知らせ●

11月1日より西区社協・手稲区社協に、下記のとおり直通電話を設置しましたので、ご利用ください。

西区社協: 011-641-6996 手稲区社協: 011-681-2644

身近な地域福祉情報は、お近くの区の社会福祉協議会の
広報誌・ホームページをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.sapporo-shakyo.or.jp/>

札幌市社会福祉協議会広報誌「やさしい街」

通巻192号 2012年11月14日発行

発行/社会福祉法人札幌市社会福祉協議会

H25.1.18 開講コース 只今募集中!! インストラクター養成講座の講師 同時募集中!

介護技術のエキスパート!! ぞくぞく養成!

介護技術 インストラクター養成講座

求職者支援訓練「いちから学べるホームヘルパー・介護保険事務科」

12月生・2月生・3月生募集中!! →詳しくは、ホームページへGO!!



医療・福祉の現場から誕生した
学校法人つしま記念学園

Academic juridical person TSUSHIMA KINEN

〒062-0021 北海道札幌市豊平区月寒西1条4丁目3-1
つしま記念学園研修センター2F

☎011-827-7217

企画から印刷・製本まで
トータル技術で社会に貢献する



SK 株式会社 さんけい

〒063-0850 札幌市西区八軒10条西12丁目2-48

☎(011)611-8866(代) FAX(011)611-0422